

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1	生涯学習に関する情報提供の充実	1	多様な媒体を活用した情報の提供	より多くの市民に情報を届けられるよう、多様な媒体を効率的に活用し、市が開催する講座等の情報を発信します。	●広報春日井、民間の生活情報誌などの紙媒体を活用した情報の提供	<p>発行回数：年12回 発行日：毎月1日を基準日に、前月末頃に発行 仕様：A4 全面カラー 発行部数：98,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報 ほか 配布先：町内会加入世帯への配布の他、公共施設や金融機関、郵便局、医療機関、大型商業施設コンビニエンスストアほか</p>	○		広報広聴課
					民間の地域情報誌の活用	<p>民間の地域情報誌を活用し、講座やイベント情報、生涯学習に関する情報を発信する。</p> <p>子ども・親子向けのイベントは、地域みっちゃく生活情報誌「月刊はるる」に掲載した。 掲載回数：年12回</p>	○		広報広聴課
					民間の地域情報誌の活用	<p>民間の地域情報誌を活用し、講座やイベント情報、生涯学習に関する情報を発信する。</p> <p>民間地域情報誌に生涯学習に関する情報を掲載した。 令和5年4月号：前期市民講座受講者募集、文化・生涯学習課実施事業のお知らせ、生涯学習情報サイト「まなびや選科」について 令和5年9月号：後期市民講座受講者募集、ふれあいセンター芸能発表会・活動団体について、施設での展示案内 令和6年4月号：生涯学習、市民活動、スポーツに取り組む人を取り上げ紹介</p>	◎	4月号掲載後、まなびや選科へのアクセス数が増加。	いきがい推進課
					施設における生涯学習情報コーナーの設置	<p>公民館等のロビーに生涯学習に関する講座やイベントについて紹介するスペースを設置する。</p> <p>施設内の共有スペースを活用し、各公民館などで開催される講座・行催事の情報コーナーを設置した。</p>	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
					市ホームページの運営	<p>市民一人ひとりの求める情報を的確に提供できるよう、春日井市ホームページで講座情報、イベント情報を提供する。</p> <p>HPアクセス件数：11,112,870件（前年比 2,912,913件減） イベントカレンダーアクセス件数：103,519件（前年比 6,816件減） ※公式アプリ「春ボケ」は令和5年10月末配信停止</p>	○	令和6年1月に市ホームページをリニューアル。さらなる検索性の向上やスマートフォンへの最適化による閲覧性の向上、アクセシビリティへの対応を図った。	広報広聴課
					生涯学習情報サイト「まなびや選科」、市ホームページ、SNS等、インターネットを活用した情報の提供	<p>生涯学習情報サイト「まなびや選科」で講師や生涯学習活動団体の情報を提供する。</p> <p>アクセス件数：40,529件（前年比 9,422件増） 団体登録件数：122団体（前年比 1団体減） 講師登録件数：323人（前年比 22人増、新規登録 27人）</p>	◎	民間地域情報誌に掲載したことで、アクセス件数が増加	いきがい推進課
					SNSによる発信	<p>市公式LINEを運用し、様々な市政情報を発信する。</p> <p>市公式LINE友だち登録者数 21,553人 「文化・生涯学習」セグメント登録者数 4,123人（前年比1,529人増） 「文化・生涯学習」分野へのセグメント配信件数 68件</p>	○	広報春日井や戸籍住民課窓口でのチラシ配布によるLINE友達登録の周知を行った。	広報広聴課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 生涯学 習に関 する情 報提供 の充実	1 多様な媒体 を活用した 情報の提供	より多くの市民に 情報を届けられ るよう、多様な 媒体を効率的に 活用し、市が開 催する講座等の 情報を発信しま す。 ●駅や施設等に設 置されているデジ タルサイネージ等 を活用した情報の 提供	様々な情報媒体を 活用した情報の発 信	施設に設置されてい るデジタルサイネ ージ等を活用して 情報を提供する。	ふれあいセンターな どの施設に設置さ れているデジタル サイネージを活用 し、施設の貸館利 用の紹介動画や講 座開催の情報を提 供した。	○		公民館、ふれあい センター、青年の 家、東部市民セン ター	
			春日井駅デジタル サイネージでの情 報発信	春日井駅のデジタ ルサイネージを活 用して情報を発 信する。	年間25回スケジ ュールを更新（原 則として月2回） ＜放映例＞ ・道風記念館企画 展「おのとうふう 〜和様の書をつ くった 三跡」PR ・道風記念館特別 展「人と書〜日 本の書の息吹〜」 PR ・文化・生涯学習 課大学連携講座 「歴史から読み 解く中国のいま」 PR ほか	○		広報広聴課	
			市政だより	放送をケーブルテ レビに委託し、 市民に映像によ る行政情報を提 供し、市政のPR 及び政策への理 解を深める。	市の政策や行催 事などの番組の 制作。 ・放映回数 毎週 1番組（5分） 原則7回/日、計 52番組 ・市施設での放 映等 東部市民 センター、味美 ふれあいセンタ ー等18施設	○	市政だよりにつ いては、過去の 番組をYouTube で公開しており いつでも視聴可 能。	広報広聴課	
			報道機関との連 携	報道機関に取材 依頼し、各種講 座やイベントの PRを行う。	講座、講演会、 生涯学習活動団 体による館内展 示について報道 各社へ取材を依 頼し、新聞に記 事が掲載された。	○		公民館、ふれあ いセンター、青 年の家、東部市 民センター	
	2 生涯学習の 魅力や活動 情報の発信	生涯学習に対 する市民の関心 を深めるため 、学ぶ楽しさ や生涯学習活 動の魅力や重 要性を伝えます。	●活動する人の 声や画像を活 用した魅力発 信	活動する人の声 が伝わる魅力的 な発信	講座受講者や活 動団体の様子が 伝わるような手 法で生涯学習の 魅力を発信す る。	講座受講者募集 の際に、ホーム ページに前年度 受講者の感想や 講座風景写真 を掲載し、講座 の内容を分かりや すく伝えるよう 工夫した。	○		公民館、ふれあ いセンター、青 年の家、東部市 民センター
			●市内の生涯学 習活動団体や サークル等の 情報発信	生涯学習の魅力 や活動団体の紹 介	生涯学習の楽し さや魅力を伝え られるような 様々な媒体等 を活用して情 報を発信する。	・令和6年4月号 広報や民間地域 情報誌で、生涯 学習、市民活動 、スポーツに取 り組む人を取り 上げ紹介 ・各施設で活動 する生涯学習活 動団体の写真付 きPRポスターを 館内で掲示した。 ・文化系団体が 制作した作品を 館内に展示し、 活動成果を紹介 した。	○		公民館、ふれあ いセンター、青 年の家、東部市 民センター
			●生涯学習情報 サイト「まなび や選科」掲載 内容の充実	まなびや選科の 充実	公民館やふれあ いセンター等 で活動している 団体の活動内容 等をインターネット 上で提供する。	「講師情報」「 団体・サークル 情報」について インターネット を通して広く提 供した。また、 登録している講 師の活動の様子 がわかるような 写真やホームペ ージへのリンク を掲載した。 アクセス件数： 40,529件（前 年比 9,422件 増）	○		いきがい推進課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
2 学習活 動の多 様なきっ かけの 提供	3 興味関心か ら実践へとつ ながる講座 等の実施	生涯学習を始め るきっかけとなる よう、初めての人 でも気軽に参加 できる学習機会 を提供するととも に、生涯にわたり 意欲的に学びを 深めることができ るような仕組み づくりを検討しま す。	●様々な分野の初 心者向け講座、体 験講座の実施	初心者向け講座	初めての人も気軽に参加 できるような初心者向けの 講座を実施する。 (1)公民館 実 施 数：82講座（337回） 実施講座：やさしいウクレレ入門、はじめてのバドミントン、基礎から学ぶ テッサン教室 ほか 延受講者数：4,340人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：19講座（86回） 実施講座：手ぶらで学べる！「着付けレッスン1年生」、はじめてさん のための一眼カメラ入門 ほか 延受講者数：1,054人 (3)青年の家 実 施 数：14講座（85回） 実施講座：楽しく歌おう！ビートルズ、初心者のためのフルート入門 講座、初心者のためのバイオリン入門講座 延受講者数：981人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			アラカルト講座	様々な講座を組み合わせ て多様な学びの機会となる ようなアラカルト形式の講座 を実施する。 (1)公民館 実 施 数：4講座（38回） 実施講座：いきいきまなび舎、大人の教養講座、坂下いきいきゼミ ナール、友遊セカンドライブ 延受講者数：795人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
			●習得状況に応じ てステップアップでき る講座の実施	ステップアップ講座	継続して学び続けられる よう、習熟度に合わせてス テップアップした講座を実施 する。 (1)公民館 実 施 数：3講座（14回） 実施講座：紙バンドのいろいろな編み方技法を学ぶ（中級）、大人 のクラフトガラスアートに挑戦（中級・上級編） ほか 延受講者数：196人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：5講座（21回） 実施講座：シニアのための持ち込みスマートフォン講座（入門編・応用 編）ほか 延受講者数：217人	○	前期講座で初級、後期講座で中級、応 用編とするなど年間を通じてステップアップ できるよう講座を企画した。	公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本的施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己評価	特記事項	担当・関係課			
2	学習活動の多様なきっかけの提供	4	活動に関する相談窓口機能の充実	生涯学習に関する相談や学習成果の生かし方、市民活動に関することなど、様々な相談に対応します。	●生涯学習指導員等による相談窓口の充実	生涯学習指導員	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 文化・生涯学習課 2人 松原学習センター 2人	○		いきがい推進課
			ボランティアや市民活動に関する相談事業の実施	ボランティア相談及び市民活動・NPO相談	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～午後5時 相談件数 1,705件 (前年 1,426件・279件増) (2)市民活動・NPO相談 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 (相談内容により予約制) 相談件数 112件 (前年86件・26件増)	○	窓口での対面相談や電話での相談、団体の活動の場へ出向いての相談を行うことができた。 近隣の大学とボランティア情報を連携し、大学生のボランティア活動への参加促進を行った。	市民活動支援センター		
		5	市民ニーズの的確な把握	社会情勢や多様化・高度化するニーズに応じた学習機会を提供するため、様々な機会を捉えて市民ニーズを把握します。	●アンケートを活用した市民ニーズの把握	アンケートを活用した市民ニーズの把握	講座受講者へのアンケート調査を行うとともに、アンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各講座において、実施後に受講者に対し、アンケート調査を行った。また、アンケート調査の結果を講師に提供し、改善すべき点を共有することで講座内容の改善を図った。	○		いきがい推進課、公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
3	誰もが参加しやすい学習機会の提供	6	生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供	市民の多様なライフスタイルに対応した学習機会を提供するため、多様な学習形態の充実を図ります。	●平日の夜間や休日に開催する講座の実施	夜間や休日における講座の開催	平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	(1)公民館 実施数：117講座 (218回) 実施講座：家族で楽しむリトミック、地域史シリーズ、おやじの料理講座 ほか 延受講者数：2,943人 (2)ふれあいセンター 実施数：25講座 (58回) 実施講座：ビデオカメラ撮影講座、映像で巡る世界遺産＋旅行気分 で英会話 ほか 延受講者数：667人 (3)青年の家 実施数：4講座 (16回) 実施講座：初心者のための太極拳入門講座、ドンドン挑戦！子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトドア体験講座 延受講者数：218人	○	休日は、男性向けや家族で参加できる講座を主に企画した。	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
						平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	実施数：16講座 実施講座：女性のための相続講座、簿記3級をめざして、バドミントンを 楽しもう、子育て講座、男の料理塾 ほか 延受講者数：509人	○		多様性社会推進課	

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3	6	市民の多様なライフスタイルに対応した学習機会を提供するため、多様な学習形態の充実を図ります。	●託児付き講座の実施	託児付き講座	子どもを持つ人も参加しやすいよう、託児付きの講座を実施する。	(1)公民館 実施数：5講座(10回) 実施講座：ママへのご褒美！オシャレ講座、ハロウィンを楽しむアイシングクッキー ほか 延受講者数：83人(託児10人) (2)ふれあいセンター 実施数：1講座(4回) 実施講座：ナチュラルケアですこやかに ※味美ふれあいセンターにて、参加者以外の子ども同伴を可とする講座を4講座実施した。【同伴可講座】リトミック、おやこでいっしょにABC 延受講者数：331人(託児3人) (3)青年の家 実施数：1講座(4回) 実施講座：童謡・アニメソングを家族で歌おう！ 延受講者数：133人(託児1人)	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				託児付き講座	子どもを持つ人も参加しやすいよう、託児付きの講座を実施する。	実施数：3講座(3回) 実施講座：子育て講座、スッキリ快適！住まいの整理術、はじめてのアイシングクッキーレッスン ほか 延受講者数：21人(託児4人)	○	託児付き講座の数は減ったが、子ども対象、親子対象講座の数を増やし、定員を超える応募があった。	多様性社会推進課
			●オンライン講座や動画配信によるデジタルコンテンツの充実	オンライン講座、配信講座	大学連携講座等で会場で受講する対面式とZOOMによるオンラインを併用した講座を実施する。また、時間や場所を問わず自分の好きな時に受講できる配信講座を実施する。	(1)ZOOM講座 実施数：1講座(2回) 延受講者数：17人 (2)対面・オンライン受講併用講座 実施数：3講座(6回) 延受講者数：74人(うちオンライン16人) (3)動画配信講座 実施数：2講座 延受講者数：262人	◎	対面式、オンラインを併用することで、ライフスタイルに合わせて受講方法を選択できるようにした。	いきがい推進課
					「市民健康づくり講座」をオンライン配信講座で実施する。	実施数：5講座(すべてオンライン) 講座内容：男性、女性それぞれの特長から考える更年期の過ごし方、働く世代の睡眠改善～安全に楽しく活動するための睡眠改善法伝授～、筋肉は最高のオシャレ！筋力トレーニングの基礎知識について ほか 延受講者数：522人	◎	令和4年度の延受講者数296人から大幅に増加した(226人増)	健康増進課
	●施設職員のオンラインスキル向上	職員研修	施設職員のスキルアップのため、配信講座に開催方法に関する研修を実施する。	月1回の社会教育事業連絡調整会議において、ZOOMを使った同時配信講座の実施方法について、公民館等の職員に対し講習を実施した 実施日：令和5年5月23日 参加施設数：11施設	○		いきがい推進課		

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3	7	<p>障がいのある人が地域社会の中で多様な学習活動に参加できるよう、障がいに配慮したサポート体制を含め、合理的配慮を提供した学習機会の事実を図ります。</p>	●障がいへの理解促進に向けた啓発	障がいを理解するための啓発講座	<p>障がいのある人も社会の一員として活動に参加できる環境を醸成するため、障がいに対する正しい理解と認識を深める講演会を開催する。</p>	<p>講演：障がい理解のための啓発講演会～誰もが安心して暮らせるまちづくり～『現代社会に広がるアディクション』～ゲーム・ギャンブル・アルコールの依存について～ 日時：令和6年1月27日（土）13：30～15：30 場所：東部市民センター 大ホール 参加者：242人 講師：信田さよ子（日本公認心理師協会会長） 内容：ゲーム、ギャンブル、アルコール、薬物、人間関係など現代社会に広がる依存について</p>	◎	ゲーム、ギャンブル依存など現代の社会的な問題となっているテーマとしたことで大幅に参加者が増加した。	障がい福祉課
			●障がい者向け講座等の実施	障がい者向け講座	障がいの特性に配慮した講座を開催する。	<p>パソコン講座や視覚障がい者スマートホン講座を実施し、日常生活に役立てた。障がいの特性に配慮しながら楽器演奏などを楽しめる講座を実施した。また、運動教室等を実施し、誰でも簡単にできる運動の機会を設けた。</p> <p>実施数：16講座 実施講座：音楽療法、のんびりゆったり体操教室、元気パワーアップ運動教室、楽しい大人の塗り絵講座、視覚障がい者スマートホン講座、はじめてのスマートホン講座 ほか 延受講者数：1,557人 （障がいの有無に関わらず募集、障がい者281人）</p>	○	新たに、「キャスター体験」や「DIYリサイクルアート教室」を開講し、多くの方が楽しめるよう企画した。	社会福祉協議会
			●障がい者図書サービスの充実	「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」事業	障がいの有無に関わらず生涯学習活動に参加できるような機会を提供する。	<p>NPO法人と連携し、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」事業の採択を受け、障がい者の生涯学習について研究を行った。</p> <p>事業名：春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プログラム開発 連携協議会： 会議4回、出席委員等 延べ54人 障がい者の生涯学習実践研究講座（7回）、延受講者数151人 障がい者を対象とした体験講座：3講座、延受講者数 106人 視察研修：視察先1施設、参加者5人 コンファレンス：参加者82人（うちオンライン参加19人）</p>	○	令和6年度から市が事業を引き継ぎ、障がい者の生涯学習事業を推進していく。	いきがい推進課
		●障がい者図書サービスの充実	障がい者図書サービス	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。	<p>(1)デージー図書製作数：31種 (2)点字データ製作数：70種 (3)対面読書：5回 (4)音訳技術講習会（初級編） 1回（12日間） 受講者数：8人 (5)音訳デジタル録音技術講習会 1回（2日間） 受講者数：36人</p>	○	音訳技術講習会（初級編）の受講者の内4名が音訳ボランティアに加入したことで、デージー図書製作の体制が強化できた。	図書館	

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3 誰もが 参加し やすい 学習機 会の提 供	7 障がい者、 外国人等 の生涯学 習活動へ の支援	外国人市民が 希望に応じた学 習ができるよう、 学習の支援や ニーズに応じた 学習機会の提 供に努めるとも に、相互理解の ためそれぞれの 文化等を学ぶ機 会の充実を図り ます。	●外国人向け日本語講座等の実施	外国人向け学習支援	日本語に関する知識や能力を高める日本語教室を開催する。	(1)日本語教室（かすがいふれあい教室） 「生活者としての外国人」の日本語に関する知識や能力を高める日本語教室を開催した。また、生活に必要な知識を身に付ける学習機会及び日本に対する理解を深める日本の文化体験講座も合わせて行った。 実施回数：36回 延参加者数：1,617人 (2)子どもの日本語教室 実施回数：39回 延参加者数：291人	◎	日本語教室について、高蔵寺ふれあいセンターで新たに教室を開講し、3教室とする。 子どもの日本語教室について、日本の文化体験講座を新たに追加する。	多様性社会推進課
			●国際交流ルームの活用	国際交流ルーム	常駐の相談員を配置し、相談を受けたり、関係機関等に繋いだりする一元的相談を実施する。	常駐の相談員を配置し、多言語資料や国際交流に関する資料を揃えるとともに、言葉や文化の違い、様々な制度を知らないことから起こる不安を取り除くために相談を受けたり、生活に必要な情報を得るために関係機関等に繋いだりする一元的相談を実施した。 延利用者数：2,419人	○	令和6年度より市民活動支援センターからレディヤンかすがいへ移転する。	多様性社会推進課
			●外国人市民との交流事業の実施	わくわく！ふれあいワールド	多文化共生を促進するため、市内に住む外国人との交流や異文化の紹介・体験を行うわくわく！ふれあいワールドを開催する。	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施した。 実施回数：7回 実施内容： 第1回 ささえあいセンターまつり「外国の飲み物文化とジュースを味わう」 第2回 親子でイタリア料理 第3回 多文化共生講演会 自転車で世界を一周した冒険家が語る「夢のかねえ方」など 延参加者数：4,323人	○		多様性社会推進課
				伝統文化体験イベント	日本に対する理解を深める日本の文化体験講座を開催する。	日本語教室と合わせて開催した。 実施回数：2回 実施講座内容：書道、茶道 延参加者数：86人	○		多様性社会推進課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1	8	乳幼児期における学習機会の充実 乳幼児が健やかに育つよう、運動や手遊び等、様々な学習プログラムの充実を図ります。また、子育て中の親が子育てについて学んだり、相談したりすることができる機会の充実を図ります。	●親子で楽しめる学習プログラムの充実	乳幼児を対象とした講座	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)講師発掘・登用事業 実施数：1講座（2回） 実施講座：ヨガでからだを動かそう！ 延受講者数：14人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				乳幼児を対象とした講座	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：20講座（71回） 実施講座：親子でふれあいリトミック、子ども人形劇 ほか 延受講者数：1,599人 (2)ふれあいセンター 実施数：9講座（38回） 実施講座：おやこでいっしょにABC！、リトミック ほか 延受講者数：982人 (3)青年の家 実施数：1講座（4回） 実施講座：童謡・アニメソングを家族で歌おう！ 延受講者数：133人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				乳幼児を対象とした講座	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)ひよこ教室・ひよこミニ：79回 延参加者数：2,553人（保護者：1,211名、子：1,342名） (2)その他講座等：77回 延参加者数：1,928人（保護者：905名、子：1,023名） (3)その他イベント等：5回 延参加者数：496人（保護者：192名、子：304名） ※対象者は子どものため、参加者数に小中学生含	○		児童センター
				乳幼児を対象とした講座	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)育児講座 未就園児とその保護者を対象に、本の読み聞かせや親子での遊びなどの講座を通じ、育児に必要な知識を提供した。 実施数：23回 参加者数：265組 543人 (2)親子教室 遊びを楽しみながら、親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを話し合える場を作ったり、保護者の友達作りも支援した。 ・すくすく教室 16回 参加者数：370人 ・子育てサロン 4回 参加者数：34組71人 ・孫といっしょ 2回 参加者数：6組19人 ・ふたごちゃん集まれ 2回 参加者数：6組17人	○		子育て支援センター
				乳幼児を対象とした講座	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。 実施数：20回 内容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作あそび、季節行事など 延参加者数：812人	○		交通児童遊園

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	8 乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに育つよう、運動や手遊び等、様々な学習プログラムの充実を図ります。また、子育て中の親が子育てについて学んだり、相談したりすることができる機会の充実を図ります。	●親子で楽しめる学習プログラムの充実	乳幼児を対象とした講座	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるために、読み聞かせや体操等を通して親子で触れ合う機会を作るとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設ける。 ・読み聞かせ 47回 ・げんきっ子体操 192回 ・親子教室 38回 ・育児講座 13回 ・母親のリフレッシュ講座 2回 ・子育て教室 8回 ・親子エアロビクス 1回 ・バランスボールでリフレッシュ 1回 延参加者数：14,543人	◎	それぞれの事業で実施数を増やし、参加者も前年から倍増した。 (前年度：6,770人)	子育て子育て支援館	
			●親子で楽しめる学習プログラムの充実	乳幼児を対象とした講座	乳幼児期からの読書活動を支援するため、また家庭における読み聞かせを継続するため、親子向けの読み聞かせを行う。 (1)ブックスタート 実施数：60回 参加者数：2,084組 (2)赤ちゃんのためのおはなし会 実施数：図書館 20回、西部ふれあいセンター 10回 参加者数：図書館 452人、西部ふれあいセンター 188人 (3)紙芝居とお話を聞く会 実施数：139回 参加者数：1,184人 (4)すくすく読み聞かせ会※ 実施数：12回 参加者数：146人 ※令和4年度から4か年計画で実施中の幼稚園・保育園特別団体貸出用図書の更新を進め、幼稚園・保育園における読み聞かせ活動を支援している。	○	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアの希望者を募り、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施した。	図書館	
			●子育てに関する講座や育児相談の実施	子育てサポートキャラバン隊	児童館、子育て支援拠点等のない地域で事業を行うことで地域の子育て支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援する。	実施場所：7施設 延べ参加人数：3,242人（保護者：1,576人、子ども：1,666人）	○		子育て推進課
			●子育てに関する講座や育児相談の実施	パパママ教室	妊婦とそのパートナーを対象に、出産や育児等について理解を深めるよう保健師や助産師が指導を行う教室を開催する。	(1)パパママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠6か月以降）とパートナー 参加者数：427人（パパ168人、ママ259人） 内容：助産師、保健師が実技等を交えながら指導を行う。市薬剤師会の「お薬相談会」を教室終了後に開催 (2)日曜パパママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠7か月以降）とパートナー 参加者数：841人（パパ421人、ママ420人） 内容：保健師講話（パープレクライング他）先輩パパの体験談、妊婦疑似体験・育児体験、夫婦で行うリラクゼーション	◎		こども家庭支援課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1 ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	8 乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに育つよう、運動や手遊び等、様々な学習プログラムの充実を図ります。また、子育て中の親が子育てについて学んだり、相談したりすることができる機会の充実を図ります。 ●子育てに関する講座や育児相談の実施	食育講座(モグモグ健康教室、カミカミ健康教室、バクバク健康教室)	乳幼児期の食育について、月齢に分けて講座を実施する。	(1)モグモグごっくん教室 対象：4～6か月児の第1子の保護者 参加者数：397人 (2)カミカミ歯っぴー教室 対象：8～11か月児の第1子の保護者 参加者数：259人 内容：管理栄養士の講話 離乳食の進め方、保健師の講話 生活リズム・成長発達・事故予防、歯科衛生士の講話 口腔機能の発達と離乳食の進め方、食生活改善推進員が調理した離乳食サンプル紹介 会場：総合保健医療センター、保健センター	◎	令和5年度、健康増進課から子ども家庭支援課に業務移管し、名称を「モグモグ健康教室」から「モグモグごっくん教室」、「カミカミ健康教室」から「カミカミ歯っぴー教室」に変更。	こども家庭支援課
			親支援事業(カンガルーひろば)	育児不安を抱える母親同士のグループを対象にグループミーティングを行いながら、問題解決の糸口が見つかるよう支援する。	育児不安を抱える母親を対象に、育児不安の軽減、育児スキルの向上、孤立感の解消と仲間づくり等を目的として、育児指導を行った。 対象：6か月～1歳1か月児の子どもと母親 定員：13組 10グループ実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 延参加者数：89人	○		こども家庭支援課
			育児相談	子育ての不安や孤立感が軽減するよう、電話や面接、Eメールで子育ての不安や悩みの相談を受ける。	(1)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9：30～16：00 相談件数：50件 (2)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10：00～16：00 相談件数：195件 (3)子育て応援広場キッコロ 実施日時：月曜日～金曜日 10：00～15：00 相談件数：60件 (4)グルッポふじとう児童館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～16：00 相談件数：349件 (5)すくすくEメール相談 相談件数：4件 (6)子育て子育て支援館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：電話34件、面接164件、合計198件 (7)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9：00～16：00 電話相談：29件 面接相談：32件 (8)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：26件	○		子育て推進課(児童センター等)、子育て子育て支援館、保育課(子育て支援センター)、交通児童遊園

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1	9	青少年が地域や社会に参加することにより、豊かな人間性、社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動を通じて学ぶことができる機会の充実を図ります。	●親子体験活動等の実施	各種親子講座 親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	(1)大学連携講座 実施数：1講座（1回） 実施講座：東洋大学連携講座「親子の理科教室～にぼしを解剖して環境問題について考えよう～」 延受講者数：30人	○		いきがい推進課	
					(2)講師発掘・登用事業 実施数：2講座（2回） 実施講座：マインドフル絵本と親子ヨガ、紙のステンドグラス「ローズウィンドウ作り」 延受講者数：17人				
					(1)公民館 実施数：59講座（93回） 実施講座：親子で学ぶお片付け教室、親子でチャレンジ！みそ玉づくり、親子でトライ！ダンスの基本ステップ入門 ほか 延受講者数：1,890人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター	
					(2)ふれあいセンター 実施数：13講座（48回） 実施講座：親子で体験！楽しい手打ちそば作り、親子講座「恵方巻づくり」 延受講者数：1,197人				
				(3)青年の家 実施数：1講座（4回） 実施講座：童謡・アニメソングを家族で歌おう！ 延受講者数：133人					
				実施数：37回 実施講座：にこにこ劇場、ミニコンサート、ファミリークッキング、パパとクッキング、げんきっ子フェスタ、豆まき、おやこ広場イベント 延参加者数：2,216人	◎	実施数を増やし、参加者も前年から倍増した。 (前年度：25回、1,284人)	子育て子育て支援館		
				実施数：1講座（1回） 実施講座：自転車乗り方教室 延受講者数：5人	○		交通児童遊園		
			●小中学生を対象とした講座、イベントの実施	小中学生を対象とした講座 (親子対象は含まない)	小中学生を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	(1)大学連携講座 実施数：2講座（2回） 実施講座：中部大学連携講座 「関節を治す技術に応用し、オリジナルキーホルダーを作ってみよう！」 「食べられる！色も変わる！？不思議なビーズを作ろう！」 延受講者数：35人	○		いきがい推進課
					(2)講師発掘・登用事業 実施数：2講座（2回） 実施講座：中部大学連携講座 延受講者数：35人				

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1 ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	9 青少年期にお ける学習機 会の充 実	青少年が地域や社 会に参加すること により、豊かな人間 性、社会性を身につ けることができるよう、 様々な体験活動を通 じて学ぶことができ る機会の充実を図り ます。 ●小中学生を対象 とした講座、イベント の実施	小中学生を対象とし た講座 (親子対象は含ま ない)	小中学生を対象に、料理、 工作、体操を始めとした体 験型の講座などを実施し、 子どもの創造力を引き出 す。	(1)公民館 実施数：16講座(24回) 実施講座：キッズのお菓子作り講座、子ども茶道教室 ほか 延受講者数：340人 (2)ふれあいセンター 実施数：8講座(10回) 実施講座：夏休みこども工作教室、夏休みこども将棋教室 ほか 延受講者数：143人 (3)青年の家 実施数：2講座(6回) 実施講座：ドドンと挑戦！夏の子ども和太鼓体験講座、キッズアウト ドアわくわく体験講座 延受講者数：51人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					児童センター 講座等：4回、191人 その他イベント等：5回、496人(親：192名、子：304名) ※対象者は子どものため、参加者数に乳幼児とその保護者含	○		児童センター
					交通児童遊園 実施数：9回 実施講座：手品教室、和太鼓体験教室、陶芸教室 ほか 延受講者数：102人	○		交通児童遊園
					子育て子育て支援館 実施数：34回 実施講座：子ども講座、軽運動遊び、ヒップホップ、工作教室、児童の 部屋工作イベント、伝承遊び、おいしいクッキング、げんきっ子 会議 延参加者数：481人	◎		子育て子育て支援 館
					子ども司書養成講 座、10代の未来さ がし講座 実施数：2講座(5回) 実施講座：子ども司書養成講座 (現役の司書から図書館業務を学ぶ) 10代の未来さがし講座 (大学教員から人生の助けになることを学ぶ) 延受講者数：14人	○		図書館
			里山体験(田んぼ と森の学校)	里山的環境を利用した米 作り体験をすることで自然と 人との関わりについて考え、 勤労体験と収穫の喜びを 味わい、生きるために重要 な「食」について考える。 里山体験(田んぼと森の学校) 実施数：9回 延受講者数：262人	○		野外教育センター	

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	9 青少年期にお ける学習機 会の充 実	青少年が地域や社 会に参加すること により、豊かな人 間性、社会性を身につ けることができるよう、 様々な体験活動を 通じて学ぶことがで きる機会の充実を図 ります。	●小中学生を対象 とした講座、イベント の実施	土曜チャレンジ・ア ップ教室	小学生が土曜日を有意義 に過ごす機会を提供する ため、大学や地域の企業等 の協力により、小学校にお いてスポーツや理科の実験 等を行う。	子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、 地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたち にとってより豊かで有意義な土曜日を表現する。 実施校：10校 実施回数：39回 延参加者数：455人	○	藤山台中学校区及び石尾台小学校区に おいて、地域の自主的な取り組みとして土 曜日の体験活動を行っている。	学校教育課
				わいわいカーニバル	さまざまな人との関わりや体 験を通して、子どもが持つ 自由で伸びやかな創造力 を引き出す子どもの祭典を 開催する。	開催日：5月14日（日） 開催場所：落合公園 参加団体数：56団体、事業数：55事業 来場者数：10,000人 ※当日は雨天のため、事業の一部が中止となった。	○		子育て推進課
	10 成人期にお ける学習機 会の充 実	家庭生活に関する 知識や技術を習得 する機会の充実を 図ります。	●家庭教育の重要 性を学ぶ学習機 会の充実	ふれあい教育セミ ナー	家庭教育の大切さ等を学 習する「ふれあい教育セミ ナー」に対して補助するこ とで、家庭教育力と地域教 育力の向上を図る。	家庭教育の大切さ等を学習する講座を充実させ、家庭教育力と地域教育力の 向上を図った。 実施団体数：50団体（認定こども園1園、私立保育園1園、幼稚 園9園、小学校30校、中学校9校） 開催回数：214回（うち託児付き33回） 事業内容：手作り絵本～子どもの心を豊かにする～、子育てコーチ ング、生活習慣に関するルールづくり講座、スマホ・ネット 安全教室 ほか 延参加者数 13,146人（託児人数延べ150人）	○		いきがい推進課
				認知症サポーター養 成講座	認知症に関する正しい知 識の普及や認知症高齢者 等を介護する家族等の支 援を図るため、認知症サ ポーター養成講座を開催す る。	実施回数：34回 要請人数：1,021人	○		地域共生推進課
			消費生活講座	悪質商法による被害を未 然に防止するための知識や 被害にあった場合の対処法 等を学べる講座を開催す る。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を 図れるように講座を開催した。 実施数：12講座 実施講座：派遣講座（5講座）、市等主催講座（7講座） 延受講者数：136人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相 談員など専門家を派遣しており、消費者 被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課	

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	11 高齢期における 学習機会の充 実	高齢者が充実した 日々を過ごせるよ う、多様な講座を開 催するとともに、社会 参加できる機会を提 供します。	●健康づくり、趣味 等に関する学習の 場の提供	かすがい熟年大学	高齢者が充実した余暇時 間を過ごすとともに学習を 通じて健康でいきがいのある 生活が送れるよう学習の場 を提供する。	実 施 数：5コース各13回、合同講座2回 内 容：生活、歴史、文学、健康科学、芸術文化の5コースを実施 延受講者数：6,426人	○	令和6年度から多少令和18歳以上に 拡大した「かすがいいいきいきアカデミー」とし て実施する。	いきがい推進課
				シニア世代を対象と した講座	シニア世代を対象に健康や 趣味に関する講座を開催す る。	(1)公民館 実施数：2講座（9回） 実施講座：ボイストレーナーと楽しく脳トレ！歌いながらストレッチ、 いきいき健康バランスボール【60～80代限定】 延受講者数：112人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			●地域の支え手とし てのスキルを身につ ける機会の提供	Uターン育児塾	祖父母世代に新しい育児 事情の学習機会を与え、そ の立場から育児参加をして もらい、出産・育児支援の 充実を図る。	もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる祖父母を対象に、育児教 室を行う。祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米パパママのサポーターと して活躍することを目的に実施した。祖父母世代のみでなく、パパ、ママ同伴も 参加可能 対 象 者：もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる人 内 容：保健師の講話・育児体験 実施回数：4回 参加者数：52人	○		こども家庭支援課
			●オンラインスキル向 上のための学習機 会の提供	シニア向けICT講座	デジタル格差の解消に向 け、シニア向けにスマート フォン講座等を実施する。	(1)公民館 実 施 数：6講座（14回） 実施講座：シニアのための持ち込みパソコン教室、やってみよう！ネット で講座の申し込み ほか 延受講者数：145人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：6講座（32回） 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、初めてのスマートフォン 延受講者数：230人 (3)青年の家 実 施 数：1講座（1回） 実施講座：スマートフォンの活用講座～Wi-Fiを使って公共施設の 予約をしよう～ 延受講者数：9人	◎	文部科学省の国民のデジタルリテラシー向 上事業（情報通信技術講習費補助 金）を活用して実施。	公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
		●消費者トラブルに ついて学ぶ機会の提 供	消費生活講座	悪質商法による被害を未 然に防止するための知識や 被害にあった場合の対処法 等を学ぶ講座を開催す る。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を 図れるように講座を開催した。 実 施 数：12講座 実施講座：派遣講座（5講座）、市等主催講座（7講座） 延受講者数：136人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相 談員など専門家を派遣しており、消費者 被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課	

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 ライフ ステージ に応じた 学習機 会の充 実	12 リカレント教育の 推進	マルチステージの人生に対応することができるよう、自己実現や職業能力の向上等に必要知識、技能、教養を身につける学び直しの機会を提供します。 ●資格取得を目指した講座の実施や情報の発信	資格取得を目指した講座の実施	自己実現や職業能力の向上等に必要知識、技能、教養を身につける学び直しの機会を提供する。	実施数：1講座（12回） 実施講座：簿記3級をめざして 延受講者数：228人	○		多様性社会推進課	
			資格取得を目指した講座等の情報発信	自己実現や職業能力の向上等に必要知識、技能、教養を身につける学び直しの機会についての情報を発信する。	大学の単位を取得できる放送大学の履修生募集情報について、チラシの設置や広報春日井での周知を行った。	△	今後、ホームページで関連サイトへのリンク集などを作成し情報の充実を図る。	いきかい推進課	
2 生涯ス ポーツの 推進	13 コミュニテイス ポーツの推 進	あらゆる世代の人々の交流を促進し、地域の活性化や人々の連帯感及び協働意識の向上を図るため、コミュニテイスポーツを推進します。 ●多様な世代が参加できる運動機会の提供	●スポーツ推進委員の育成	スポーツ推進委員	地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。	(1)春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（4回） (2)その他（研修会等への参加） 愛知県スポーツ推進委員研修会 4市スポーツ推進委員会合同研修会 (3)スポーツ推進委員の派遣 派遣件数：35件 派遣人数：117人	◎		文化スポーツ振興課
			学校区体育振興会交流大会	健康・体づくり運動に関する啓蒙と事業実施を行う学校区体育振興会を育成し、地域スポーツの振興を図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、春日井市スポーツ協会を通じて各学校区体育振興会に補助金を交付した。 (2)学校区体育振興会交流大会 期 日：11月19日（日） 会 場：総合体育館第1競技場、総合体育館運動広場 種 目：ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ 参加人数：ソフトバレーボール 178人（33チーム） グラウンド・ゴルフ 171人（57チーム）	○		文化スポーツ振興課	
			ラジオ体操会	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操の日」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 期 日：8月1日（火） 会 場：落合公園 参加人数：1,020人 (2)ラジオ体操！チャレンジ宣言 期 日：7月21日（金）～8月31日（木） 団 体 数：70団体 延参加人数：5,737人	◎	春日井市制80周年事業として、「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催。	文化スポーツ振興課	

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
2 生涯ス ポーツの 推進	14 スポーツに関する 学習機会の充 実	市民が気軽にスポー ツに取り組むきっかけ となるよう、日常的に スポーツやレクリエー ションスポーツに親し める機会の充実を図 ります。	●スポーツ教室の実 施	スポーツに関する講 座・教室	健康づくりやいきがいづくりを 推進するため、気軽に体を 動かし、スポーツに親しめる 講座を実施する。	(1)公民館 実施数：21講座（118回） 実施講座：はじめてのバドミントン～基本を踏まえて楽しくラリー～、誰で も楽しめるバランスボール 延受講者数：1,440人 (2)ふれあいセンター 実施数：26講座（142回） 実施講座：今日から始める若返り運動教室、らくちん筋力アップ体操 延受講者数：2,442人 (3)青年の家 実施数：1講座（6回） 実施講座：初心者のための太極拳入門講座 延受講者数：34人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			●スポーツイベントの 実施	スポーツイベント	マラソン大会、スポーツフェ スティバルなどを実施し、多く の市民が生涯を通じてス ポーツに親しむことができよ う、各世代のニーズに合わ せたスポーツへの参加機 会の充実を図る。	(1)新春春日井マラソン大会 期日：1月7日（日） 参加人数：4,765人 (2)かすがい！スポーツフェスティバル 期日：10月9日（月・祝） 参加人数：6,085人 (3)レクリエーションスポーツ祭2023 期日：6月11日（日） 参加人数 456人 (4)市民体育大会 期日：4月1日（金）～3月31日（金） 参加人数：8,485人	◎	各種イベントの参加者が増加。 高校生スポーツ大会が令和5年度から廃 止	文化スポーツ振興課
			●春日井市スポーツ ふれあい財団との連 携強化	春日井市スポーツ・ ふれあい財団との連 携	生涯スポーツ教室や出張ス ポーツ講座を始め、さまざ まなスポーツ教室（講座）や スポーツイベントを行う、春 日井市スポーツ・ふれあい 財団と連携し、スポーツに 親しむ機会の充実を図る。	(1)スポーツ教室（講座）の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運 動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延回数：3,901回 延参加人数：83,550人 (2)スポーツイベントの実施 実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、Fリーグ春日井大会、ライフ セービング体験&いのちの教室、萩原智子杯水泳競技大 会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会、飛び込 みをマスターしよう！、スポレ春春日井記録会、スポレ春 日井ラグビー祭 ほか 延参加人数：19,411人	◎		文化スポーツ振興課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3 文化芸術の振興	15 文化芸術の鑑賞機会や学習機会の提供	質が高く幅広いジャンルの公演を鑑賞したり、文化芸術を体験したりできる機会を提供し、誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実に図ります。	●地域の身近な場所での鑑賞・交流機会の提供	かすがいどこでもアート・ドア	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣する。また、小中学校の授業型アウトリーチ「スクール・アート・ドア」を実施し、子どもの頃から芸術に親しむ機会を提供する。	派遣アーティスト数：音楽・伝統芸能系15組、美術系3人 実施回数：44回（うちスクール・アート・ドア15回） 延参加者数：5,173人（うちスクール・アート・ドア1,632人）	◎		文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）
			●様々な文化を体験できる機会の充実	かすがい文化フェスティバル	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	伝統文化から現代アートまで、子どもたちが多様な芸術文化に触れられる総合体験型イベント「かすがい文化フェスティバル2023」を実施した。 (1)夏休みワークショップ 実施数：13講座 延参加者数：367人 (2)夕涼みシネマ 延参加者数：165人	○	文化協会の協力を得て事業を実施	文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）
			●芸術家によるアウトリーチ活動	わへく書つづ	地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。	書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、市内外で活躍する書家を派遣する「わへく書つづ」を実施した。 実施プログラム：5講座 実施回数：11回	○	美術協会の協力を得て事業を実施	文化スポーツ振興課
			●かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供する。	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供した。また、市制80周年記念事業として、かすがい市民文化財団に事業を委託し、将棋フェスティバルを開催した。 参加者数 408人	◎		文化スポーツ振興課
	16 市民による文化芸術活動の推進	市民の自主的・主体的な活動がさらに活発になるよう、活動の成果を披露することができる機会の充実に取り組みます。	●文化芸術イベントの実施	文化芸術イベント	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実に図る。	(1)美術系事業 新進作家支援事業 山田雅哉「エチカ」、のだめカンタービレ展、中日新聞報道写真展 (2)舞台系事業 市制80周年記念事業 第30回日本舞踊鑑賞会、帰ってきた びわ湖ホール 四大テノール・コンサート、松竹歌舞伎舞踊公演、ミュージカル『カラフル』、手島葵concert2023～Trio～、市制80周年記念事業 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 ニューイヤークンサート ほか	◎	市制80周年記念事業など、様々な分野、年齢層を対象とした事業を実施	文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3 文化芸 術の振 興	16 市民による文化 芸術活動の推 進	市民の自主的・主体的な活動がさらに活発になるよう、活動の成果を披露することができる機会の充実等に取り組みます。	●「公民館等や文化芸術拠点施設を活用した発表機会の提供	市民美術展覧会 ほか	市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。	市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 審査：8月6日（日） 展示：8月19日（土）～27日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 出品数：計655点 鑑賞者：8,980人 ※ホームページでカラー版入賞者名簿の掲載を行った。（373アクセス）	○	市内高校の芸術系部活動に出品を呼びかけた効果などから、学生からの新規出品は32名増え、全体の出品も昨年と比べ26作品増加した。出品者に比例し来場者数も増加傾向にある。	文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）
	17 特色ある文化の 推進	春日井市独自の文化の普及、振興に向けた取組みを推進することで、市民の文化に対する関心を深めます。	●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	道風展	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	春日井展：10月29日（日）～11月5日（日） 表彰式：10月29日（日） VR展：10月29日（日）～12月3日（日） 道風記念館 特別巡回展：10月29日（日）～12月3日（日） 学生半紙の部巡回展：11月27日（月）～12月17日（日） JR春日井駅自由通路展示コーナー 一般部巡回展：12月13日から、西部ふれあいセンター、グルッポふじとう、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部353点、学生部5,541点、計5,894点	○	出品数は昨年度に比べ406点増加した。特に県外からの新規団体の出品のほか、学生条幅の部では強豪校からの出品も続いており、特別巡回展を含めると来場者数も1,500人以上増加した。	文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）
			●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	書に関する作品の展示	全国的にも数少ない書専門の美術館である道風記念館において、収蔵品や他施設から借用したさまざまな書作品・書関係資料を展示する。	(1)特別展 「人と書～日本の書の息吹～」 9月23日（土）～10月29日（日） ※第33回書学書道史学会大会を誘致 (2)企画展 「おのとうふう～和様の書をつくった三跡～」 7月14日（金）～9月18日（月） 「中国名碑拓本展」 11月3日（金）～12月10日（日） (3)館藏品展 「書の魅力」 4月26日（水）～7月9日（日） 「書に想いをのせる」前期 12月15日（金）～2月12日（月） 「書に想いをのせる」後期 2月27日（火）～4月21日（日） (4)第42回道風の書臨書作品展 1月13日（土）～28日（日） ※年間観覧者数：6,465人	○	特別展では、顧問の古谷稔氏のコレクションを展示した。まとめて公開されたことのないもので、全国の書の研究者から注目された展覧会となった。書学書道史学会大会の誘致により、より効果があがったといえる。	道風記念館
			●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	自分史作品の公募	全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。	自分史活動の振興と春日井市のPRを図り、短編の自分史作品を公募し、作品集を製作した。 テーマ：「わたしの よりみち かえりみち」 公募数：121作品 作品集への掲載数：14作品 ※作品集の体裁や印刷方法を変え、価格を見直した。また、掲載者の交流会を開催するなど、コミュニティの醸成に努めた。。	○		文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3 文化芸術の振興	17 特色ある文化の推進	春日井市独自の文化の普及、振興に向けた取組みを推進することで、市民の文化に対する関心を深めます。 ●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	自分史関連事業	自分史活動により、個人を敬い、心のつながりを認識することを目指す。	自分史を社会課題解決に活用し、誰にでも起こりえる"孤独・孤立"の問題に対して、地域の公立文化施設が課題解決のプラットフォームとして持続的・安定的に機能するための支援モデル構築を目的として実施した。 (1)「あなただけの」とっておきのアルバムをつくろう」 講師：浅田政志（写真家）2日間実施、計26人参加 (2)「モヤモヤの正体 わたしと身体をつながりを知る」 講師：伊 雄大（もの書き、インタビュアー） 「モヤモヤを聞く」大人向け、19人参加 「モヤモヤを話す」10-20代向け、5人参加	○	（公社）全国公立文化施設協会から委託し、社会課題解決に向けた取り組みとして実施。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
	18 郷土文化の継承、文化財保護意識の啓発	郷土の文化財や伝統文化を未来へ受け継ぐことができるよう、保護、保存及び活用を図るとともに、春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めます。 ●文化財や伝統芸能等の保存・継承・活用	郷土芸能出前講座	地域の郷土芸能保存会を小学校に招き、模範演技の披露や体験・練習・発表を通して郷土芸能の保存・伝承について考える機会を提供する。	小学生を対象に郷土芸能保存団体が地域の郷土芸能を披露し、体験を通じて地域に伝わる郷土芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるため、郷土芸能出前講座を実施した。 開催校：玉川小学校 開催日：10月19日（木） 参加児童数：3年生 46人 保存団体：玉野郷土芸能保存会始め5団体 開催校：神領小学校 開催日：11月8日（水） 参加児童数：4年生 88人 保存団体：大留下棒の手保存会始め2団体	○		文化財課
			●文化財や伝統芸能等の保存・継承・活用	郷土芸能等のデジタルアーカイブ化	市の文化財について認知度を高めるため、VR（バーチャル・リアリティ）による見学ツアーやPR動画や360°動画の作成等、デジタルデータを活用した文化財情報を積極的に発信する。	伊多波刀神社（市指定無形民俗文化財「伊多波刀神社奉納流鏑馬」が奉納される神社）のVR（バーチャル・リアリティ）見学ツアーを市ホームページで公開した。	○	民俗考古展示室（2件）、指定文化財（6件）、遺跡（6件）を公開中
		●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	民俗考古企画展示	市の歴史や文化財の周知啓発を図る考古資料や民俗資料を活用し、企画展を実施する。	(1)考古関係「食事の考古学」ほか 2回 観覧者数：1,906人 (2)民俗関係「職人の手仕事」ほか 3回 観覧者数：1,576人	○		文化財課

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3 文化芸術の振興	18 郷土文化の継承、文化財保護意識の啓発	郷土の文化財や伝統文化を未来へ受け継ぐことができるよう、保護、保存及び活用を図るとともに、春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めます。	●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	内津文化財祭、ハニワまつり、古代史講座	春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座を実施し、市の歴史や文化財の周知、啓発を図る。	(1)内津文化財祭 開催日：5月14日(日) 会 場：内々神社 内 容：和楽器ユニット演奏、指定文化財「御舞台」と三十六歌仙額の公開、社殿・庭園・すみれ塚ガイド(雨天により茶会中止) 参加者数：200人 (2)ハニワまつり 開催日：10月28日(土) 会 場：二子山公園 内 容：ハニワの野焼き、体験工房、舞台芸能、製鉄実演、クイズラリー、音楽祭 参加者数：4,500人 (3)講座 (ア)親子体験教室7回 実施講座内容：「クラフトバンドでこいのぼりのカゴをつくろう」ほか 延受講者数：154人 (イ)特別講座3回 実施講座内容：「織内の須恵器系埴輪」ほか 延受講者数：262人 (ウ)古代史講座3回 実施講座内容：「中世尾張の窯業生産と窯炉」ほか 延受講者数：120人	○	イベント内容の見直しや、PR動画の制作、デジタルサイネージ等を活用した啓発によりイベント情報を発信し、参加者の増加を図る	文化財課
			●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	郷土誌かすがいの発行(第82号)	春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めるため、郷土誌かすがいを発行する。	発行日：令和5年11月1日 発行部数：2,500部 内容 「円福寺観音堂厨子および棟札六枚の調査」岩田敏也 「春日井の非常守」近藤雅英 「春日井市内津町の「すみれ塚」についての考察」尾崎尚志	○		文化財課
4 自主的な学習活動への支援	19 図書館、図書室の充実	市民の多様な学習ニーズに対応するため、図書資料をはじめ、各種資料の整備を推進するとともに、利用者ニーズに対応したサービスの充実を図ります。	●図書資料、視聴覚資料の充実	図書資料、視聴覚資料の充実	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整える。	蔵書数 春日井市図書館 590,838冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 82,896冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 102,456冊 合計 776,190冊(9,781冊減)	○	春日井市及びその周辺地域及び書道に関連する資料を幅広く収集した。また、不用資料等を積極的に除籍し、書庫の適正な管理を行った。	図書館
			●中高生を対象としたティーンズサービスの充実	ティーンズサービスの充実	中学生・高校生(10代)の利用促進を図るため、TC(ティーンズコーナー)通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	(1)TC(ティーンズコーナー)通信発行 年6回 (2)TC蔵書の拡充 令和4年度末6,042冊→令和5年度末6,283冊 (3)10代の未来さがし講座 読書からの贈り物～選書と本の対話～ 日 時：11月11日(土) 場 所：文化フォーラム春日井 受講者数：児童・生徒7名、保護者4名	○	市内高校と協力し、毎回のTC通信に、現役高校生の寄稿した本の紹介文を掲載した。	図書館

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
4 自主的 な学習 活動へ の支援	20 生涯学習活動 団体への支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体をはじめ、文化やスポーツ等の社会教育関係団体への支援を行い、地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図ります。	●団体活動のPR支援	生涯学習活動団体のPR支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体のPRを行う。	(1)令和6年4月号広報や民間地域情報誌で、生涯学習、市民活動、スポーツに取り組む人を取り上げ紹介 (2)各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示した。 (3)文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
			●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう支援する。	(1)3か月前優先予約 令和5年4月利用分から生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約できるよう変更した。 (2)施設使用料の2分の1を減免する。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
			●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	文化スポーツイベント補助金	文化の振興、スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	(1)スポーツ関係 国際大会出場補助：個人 16件、団体 0件 全国大会出場補助：個人 161件、団体 14件 全国大会開催補助 1件（第33回全国高等学校剣道選抜大会） (2)2文化関係 文化的事業の開催 2件 国内での文化事業参加 団体：0件 個人：9件 国際文化交流事業 0件	◎	全国大会等の開催が昨年度よりも多くなり、それに伴い、補助金の申請数も増加となった。	文化スポーツ振興課
			●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	春日井市スポーツ協会運営費補助金	スポーツ協会の運営や、学区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付する。	スポーツ協会の運営及び加盟40団体の育成、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成により、スポーツの振興を図った。 (1)市民体育大会総合開会式 期 日：6月18日（日） 団 体 数：34団体 参加人数：278人 優秀表彰 個人4人 団体3団体 一般表彰 個人5人 (2)各競技団体が行う事業 スポーツ教室、選手派遣及び育成事業、団体主催事業	○		文化スポーツ振興課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	21 健康に関する学 習機会の充実	生涯健康でいきいきと暮らせるよう、健康づくりへの意識高揚を図るため、健康に関する情報提供や健康に関する知識を身につける学習機会の提供を推進します。	●各ライフステージの健康課題に対応した講座の実施	女性のためのヘルスアップ講座	各ライフステージにおける女性を対象とした健康づくり講座を実施する。	実施回数：2回 参加人数：26人 対象及び内容：壮年期世代 更年期の対処法、健康運動	○	令和3年度からは壮年期世代対象の更年期の対処法に限定して実施している。	健康増進課
			お気軽健康教室	高齢期における自立度の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を図るため、ロコモティブシンドロームや認知症の予防に効果的な軽運動を行う教室を開催する。	(1)総合保健医療センター 実施回数：47回 延参加者数：2,210人 (2)保健センター 実施回数：45回 延参加者数：1,100人	◎		健康増進課	
			健康に関する講座の実施	幅広い世代を対象に健康に関する知識の習得や体力づくりなど様々な切り口で健康に関する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：10講座（51回） 実施講座：免疫力をアップしよう！体にやさしい簡単エクササイズ、体にうれしい発酵食～麹を使ったワンプレートランチ 延受講者数：698人 (2)ふれあいセンター 実施数：7講座（42回） 実施講座：健康ヨガ、体感！背骨コンディショニング 延受講者数：482人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター	
			●健康づくりや介護予防を実践する機会の提供	市民団体、医師会などの関係機関、健康支援プログラム登録企業が「健康・救急」をテーマにした体験型のブースや講演会などを実施する。	9月第1日曜日の「健康の日」、9月9日の「救急の日」にあわせ、市民の「健康づくり」の知識を広げるとともに、「救急活動」への理解を深めることを目的に実施。 実施日程：9月3日（日）10時～15時 会 場：市役所、文化フォーラム春日井 延参加者数：5,500人	○	会場変更した（令和4年度以前は総合体育館で実施）。 市制80周年記念事業として、プロフィギュアスケーター元オリンピック日本代表鈴木明子氏によるトークショーなどの特別企画を実施した。	健康増進課	
			健康づくり出前講座	保健師、栄養士、歯科衛生士又は健康支援プログラムの登録企業の講師が地域で活動する団体やグループ等に出向いて、健康づくりに関する各種講座を開催する。	実施数：112回（うち企業講師33回） 実施講座：講座メニュー一覧登録講座その他 延受講者数：2,289人	○		健康増進課	
			市民健康づくり講座	生活習慣を改善するきっかけづくりとなるよう、健康づくりと予防方法に関する正しい知識を身につけることができる講座を実施する。	実 施 数：5 講 座（すべてオンライン） 講座内容：男性・女性それぞれの特長から考える更年期の過ごし方、働く世代の睡眠改善～安全に楽しく活動するための睡眠改善法伝授～、筋肉は最高のオシャレ！筋力トレーニングの基礎知識について ほか 延受講者数：522人	◎		健康増進課	

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1 社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	22 環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生 活を送れるよう、学 習機会の充実を図 り、環境学習を推進 します。 ●座学やフィールド ワーク、ワークショップ 等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	市民環境アカデミー	地球温暖化、省エネルギー、身近な自然環境やその保全活動等をテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて学ぶ機会を提供する。	地球温暖化、リサイクル、身近な自然環境やその保全活動などをテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通して学ぶ。 第1回「エネルギーと環境問題」 第2回「地質学と地球温暖化」 第3回「モータースポーツにおけるカーボンニュートラル」 第4回「マシガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色」 第5回「生物多様性は大事なの？～植物を求め旅から見たこと」 第6回「海洋汚染の防止と国際社会」 受講者数：48人	○	受講生は春日井まつりボランティアへの参画（R5年度6名）や、愛知県地球温暖化防止活動推進員としての活動（R5年度未現在春日井市13名のうち8名が受講生）など、環境保全活動の実践につながっている。	環境政策課
			市民環境フォーラム	環境対策の推進や環境活動を行っている個人や団体等を表彰し、環境問題について学ぶ機会を提供する。	市民の環境活動への取り組みを推進し、相互の交流や環境情報の提供を目的に開催。 日 時：12月9日（土） 場 所：東部市民センター 参加者数：270人 内 容：表彰「かすがい環境賞」「環境絵画コンクール市長賞」 基調講演 「マシガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色～」 講師：滝沢 秀一	○		環境政策課
			エコライフセミナーの実施	環境情報の提供と環境意識の高揚を図るため、地球温暖化や省エネルギーなど身近な視点から環境問題を考える講座を実施する。	環境情報の提供と市民の環境意識の高揚を図ることにより、環境まちづくりを推進するため実施。 講座名：夏休み子どもエコライフセミナー「竹で遊ぼう！～水でつぼう作り～」 日 時：8月2日（水） 場 所：文化フォーラム春日井、市民広場 参加者数：市内小学生とその保護者17組42名 内 容：ゼロカーボンミニ講座、竹の水鉄砲作り、打ち水	○		環境政策課
			カーボンフリー環境講座	地球温暖化対策に対し、自ら考え、実践することができる次世代の人材育成を図るため、地球温暖化対策等を学ぶ体験型講座を実施する。	小学生とその保護者を対象に、空港資源を活用して航空会社が取り組み、地球温暖化対策を学ぶ体験型講座を実施。 日時：12月2日（土） 場所：県営名古屋空港ターミナルビル3階会議室・F D A 格納庫 参加者数：38人	○	㈱フジドリームエアラインズの協力のもと、空港資源を活用した航空会社が取組む地球温暖化対策について学ぶ体験型講座を開催。	環境政策課
			環境に関する講座	環境に関する講座を実施する。	(1)大学連携講座 実施数：1講座（1回） 実施講座：東洋大学連携講座「親子の理科教室～にぼしを解剖して環境問題について考えよう～」 延受講者数：30人	○		いきがい推進課
			環境に関する講座	環境に関する講座を実施する。	(1)ふれあいセンター 実施数：1講座（1回） 実施講座：緑のカーテン育成講座 延受講者数：5人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 社会的 課題に 対応した 学習機会 の充実	22 環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生活 を送れるよう、学習 機会の充実を図り、 環境学習を推進し ます。	●座学やフィールド ワーク、ワークショップ 等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	環境に関する講座	家庭から出る生ごみを堆肥 化する生ごみ減量講座 (ぼかし作り)や地域の団 体等に対するごみ減量等 の出前講座を開催する。	実施数：2講座(9回) 実施講座：生ごみ減量講座、出前講座(ごみの現状や分別方法) 延受講者数：170人	○	公共施設のほか商業施設でも開催。 外国人向け日本語教室と連携し、外国 人住民に対して啓発を行った。	ごみ減量推進課
			●親子で環境を学 ぶ機会の充実	子ども環境アカデミー	子ども(小学4～6年 生)とその保護者を対象と し、家族ぐるみで地球温暖 化、自然環境保全、循環 型社会等について総合的 、横断的に学習する機会 を提供する。	子ども(小学4～6年生)とその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境について学び、考えることで環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図る。 実施内容：日本のカメラと外国のカメラを通して外来種について知ろう エコパーティーによるこそ～楽しく環境を学んでエコ博士になろう 親子おもしろ実験室～水質調査体験と液体ちっ素を使った 実験～ほか 延受講者数：20組41名	○	発火性危険物の常設展示を設けた	グリーンセンター(エコメッセ春日井)
			●防災、防犯に関 する講座の実施	安全アカデミー	地域の安全について自ら考 えて行動し、提言できる地 域のリーダーを育成する春 日井安全アカデミーを開催 する。	市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。 生活安全コース：8講座 防災コース：7講座 実施期間：7月1日(土)～12月2日(土) 参加者数：75人(65人卒業)	○	令和3年度から、ポニターの拡充を目指 し、見直しを実施。ポニターになるための資 格要件として、基礎教養課程と専門課程 の最低2年受講が必要であったものを、課 程を一つにし、1年で取得できるようにし た。	市民安全課
	23 防災・防犯に関 する学習機会の 充実	犯罪や災害等に強 い安全・安心のまち づくりを目指し、市民 の実践力を高めるた めの学習機会の充 実を図ります。また、 交通安全啓発のた めの学習機会を提 供します。	●防災、防犯に関 する講座の実施	安全アカデミー	市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。 生活安全コース：8講座 防災コース：7講座 実施期間：7月1日(土)～12月2日(土) 参加者数：75人(65人卒業)	○	令和3年度から、ポニターの拡充を目指 し、見直しを実施。ポニターになるための資 格要件として、基礎教養課程と専門課程 の最低2年受講が必要であったものを、課 程を一つにし、1年で取得できるようにし た。	市民安全課	
			●防災、防犯に関 する講座の実施	安全安心フェア	市民への自助力及び共助 力の向上を推進するとと もに、防災、防犯及び交通 安全意識の高揚を図るこ とを目的に、安全安心フェア を実施する。	防災・防犯・交通安全の啓発事業を実施することにより、市民への自助力及び共助力の向上を推進するとともに、防災・防犯・交通安全の意識を図ること及び災害時応援協定を締結している企業による防災啓発の出展を実施することで、市と企業との顔の見える関係を構築し、災害時における迅速な応急対策活動への遂行につなげることを目的とした安全安心フェアを実施した。 日 時：6月3日(土)午前10時～午後4時 会 場：文化フォーラム春日井交流アトリウム及び市民ひろば 参加人数：約2,500人	◎		市民安全課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 社会的 課題に 対応した 学習機 会の充 実	23 防災・防犯に 関する学 習機 会の充 実	犯罪や災害等に強い安全・安心のまちづくりを目指し、市民の実践力を高めるための学習機会の充実を図ります。また、交通安全啓発のための学習機会を提供します。	●防災訓練、水防訓練の実施	総合防災訓練	地震災害に対する参加機関との相互協力体制を確立するとともに、市民の防災意識を高めるため、防災訓練を実施する。	市・各防災関係機関・地域自主防災組織・地域住民等の地震災害に対する相互協力体制を確立し、市民の防災意識を高めることを目的とした、総合防災訓練を実施した。 日 時：8月27日(日)午前7時～10時40分 会 場：石尾台小学校 参加人数：約1,200人	◎		市民安全課
			●防災訓練、水防訓練の実施	水防訓練	河川の決壊等の水害を想定し、水防技術の向上と水防体制の充実、市民の水防に対する意識を高めるため、水防訓練を実施する。	河川の決壊等の水害を想定し、水防技術の向上と水防体制の充実、市民の水防に対する意識を高めるため、水防訓練を実施 実 施 日：6月4日(日) 訓練会場：白山小学校(グラウンド) 内 容：水防工法訓練 参加団体：春日井市、春日井市消防団、春日井建設協会、春日井警察署	○		河川排水課
			●交通安全教室の実施	交通安全教室	交通安全意識を向上させ交通マナーを身に付けるため、幼児から高齢者まで、それぞれの発達段階やライフスタイルに合わせた体験・実践型の交通安全教室を実施する。	市内での交通事故減少を目指し、各年齢層に応じて、交通安全の基本となるルール、マナーの指導を行う交通安全教室を開催した。 実施回数 小学校交通安全教室 32回 幼児交通安全教室 30回 高齢者交通安全教室 8回 地域等における交通安全教室 29回 合 計 99回	◎		市民安全課
	24 情報化・国際 化社会に 関する学 習機 会の充 実	日々進化し続ける情報化社会へ対応することができるよう、ICTに関する知識や技術の習得のための学習機会を提供します。	●パソコンやスマートフォン等の操作を学ぶ講座の実施	I C T の活用に関する講座	パソコンやスマートフォンなどの操作方法や活用方法をはじめとしたICTに関する講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：12講座(36回) 実施講座：親子でゲームをつくるプログラミング講座!!、シニアのためのAndroidスマートフォン教室 ほか 延受講者数：433人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：7講座(25回) 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、持ち込みパソコン講座 ほか 延受講者数：253人 (3)青年の家 実 施 数：1講座(1回) 実施講座：スマートフォンの活用講座～Wi-Fiを使って公共施設の予約をしよう～ 延受講者数：9人	◎		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	24 情報化・国際化 社会に対応した 学習機会の充 実	国際化への意識を 高め、豊かな国際感 覚を育むことができ るような学習機会の充 実を図ります。	●外国語の習得に 向けた学習機会の 充実	外国語講座の実施 多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国語など の講座を実施する。	(1)公民館 実施数：2講座（6回） 実施講座：旅先で役立つ英会話（初級）、外国人のための日本語 教室 延受講者数：143人 (2)ふれあいセンター 実施数：2講座（9回） 実施講座：映像で巡る世界遺産＋旅行気分英会話、初心者向け チャレンジ英会話 延受講者数：131人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
				外国の文化にふれる 講座	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国文化の 紹介や体験講座を実施す る。	(1)大学連携講座 実施数：1講座（3回） 実施講座：中部大学連携講座「歴史から読み解く中国のいま」 延受講者数：90人	○		いきがい推進課
			●多文化共生に向 けた学習機会の充 実	外国の文化にふれる 講座	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国文化の 紹介や体験講座を実施す る。	(1)公民館 実施数：7講座（25回） 実施講座：親子でイングリッシュ、薬膳で課に端！世界の家庭料理 ほか 延受講者数：143人 (2)ふれあいセンター 実施数：2講座（6回） 実施講座：おやこでいっしょにABC！ 延受講者数：138人 (3)青年の家 実施数：1講座（8回） 実施講座：楽しく歌おうビートルズ！ 延受講者数：159人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
				わくわく！ふれあい ワールド	異文化への理解を深めると ともに、外国人市民と日本 人市民との交流を図るた め、市内で活動する国際交 流団体により設立された春 日井市国際交流ネットワ ークに委託し、「わくわく！ふれ あいワールド」を実施する。	実施回数：7回 実施内容：外国の飲み物文化とジュースを味わう、親子でイタリア料 理、多文化共生講演会 自転車で世界を一周した冒険 家が語る「夢のかなえ方」など 延参加者数：4,323人	○		多様性社会推進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	25 男女共同参画 に関する学習機 会の充実	男女共同参画につ いての理解を深める ための学習機会を 提供します。また、 女性のエンパワーム ント、男性の家庭生 活への参加促進に 向けた学習機会を 提供します。	●男女共同参画セ ミナー、出前講座の 実施	男女共同参画セミ ナー	あらゆる世代の方が生涯を 通じて男女共同参画の視 点を持ち、能力を開発、発 揮し、社会のあらゆる分野 へ参画していくために必要 な能力を高めることができ よう講座の開催など学習機 会を提供する。	(1)一般市民向け講座 実施数：7講座 実施内容：えがお先生のババ写真セミナー、理工系のお仕事体験セ ミナー、雅楽の魅力を知らう、出前講座（春日井高等学校 全日制、春日井工科高等学校、市内子どもの家）、かす がい女性連盟総会での講演 延受講者数：573人 (2)職員・学校向け講座 実施数：2講座 実施内容：LGBTQの理解、ジェンダーに関するアンコンシャス・バイア スについて 延受講者数：55人	◎	昨年度よりも多くの講座を開催することがで きた。	多様性社会推進課
			男女共同参画市民 フォーラム	男女共同参画社会の実現 を目指した意識啓発を目 的に、市民、社会活動団 体、企業、市がともに考える 機会として、市民フォーラム を開催する。	「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民 フォーラムを開催した。 開催日：11月26日（日） 参加人数：500人 内 容：講演会、パネルディスカッション、男女共同参画フォトコンテス ト作品展示	◎	市制80周年記念事業として、規模を拡 大して開催することができた。	多様性社会推進課	
			●女性のキャリアアッ プや男性の家事、育 児、介護能力向上 のための講座の開催	各種講座の実施	女性のキャリア形成や管理 職に就くまでのイメージの構 築、本市で起業を希望する 女性起業家の経営安定と 質の向上を図るためのセミ ナー等を開催する。また、男 性が主体的に育児に参加 できるよう、セミナーを開催 する。	(1)女性向け講座 実施数：4講座 実施内容：女性のためのキャリアアップ講座、女性のための起業応援 セミナー、起業応援セミナーフォローアップ会、テレワーク入 門セミナー 延受講者数：239人 (2)男性の育児力向上講座 男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催した。 実施数：1講座 実施内容：えがお先生のババ写真セミナー 受講者数：8人	○		多様性社会推進課
			●ワーク・ライフ・バラ ンスの推進に向けた 講座の実施	ワーク・ライフ・バラ ンスの推進	ワーク・ライフ・バランスを推 進するため、男女共同参画 情報紙「はるか」による啓発 のほか、事業者等に対する 出張講座を行う。	(1)公民館 実施数：9講座（12回） 実施講座：ウィークエンド男子ごはん、おやじの料理講座 延受講者数：166人 (2)ふれあいセンター 実施数：1講座（1回） 実施講座：ホテルプラザ勝川男の料理塾 受講者数：6人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					男女共同参画情報紙「はるか」で多様な働き方について啓発するとともに、事業 者に対し出前講座を実施した。 実施数：1講座 実施内容：働き方改革について 受講者数：42人	○		多様性社会推進課	

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
2 地域の 担い手と なる人 材の発 掘及び 育成	26 指導者となりうる 人材の育成	地域のリーダーとして活躍できる人材を養成するとともに、生涯学習のニーズに対応できる潜在的な資質や活動意欲のある人材の発掘を推進します。	●人材を育成するための講座の実施	安全・安心まちづくりポーター養成講座	地域の安全についてリーダー的役割を担うポーターを養成するため、安全アカデミーを卒業した人を対象に養成講座を実施する。	安全アカデミーを卒業した人を対象として養成講座を開講した。 開催期間：1月25日（木）・26日（金） 実施内容：普通救命講習、防犯講話、避難所運営ゲーム（HUG）	○	安全アカデミー卒業者のうち、養成講座受講者13名が安全・安心まちづくりポーターとして新たに委嘱を受けた。	市民安全課
				ヘルスマイト養成講座	地域において、食を通じた健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施する。	食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施した。 実施回数：8回 養成人数：14人	○		健康増進課
				認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	実施回数：34回 養成人数：1,021人	○		地域共生推進課
				野外活動・自然体験指導者講座	野外での体験活動、自然に親しむ活動、遊びなど様々な分野で十分な指導ができるよう講習会を開催する。	野外活動・自然体験指導者講座（4回） 延受講者数55人	○		野外教育センター
		●生涯学習情報サイトへの登録促進	まなびや選科（サイト）への講師登録	自分の知識や技能を他者に教えたい人と学びたい人を結びつけるため、講師を希望する人をサイトに登録することを促進する。	講師登録件数：323人（うち新規登録27人） アクセス件数：40,529件（前年度31,107件）	○		いきがい推進課	
	27 ボランティアの育成	ボランティア団体の活動を広く周知するとともに、ボランティアとして活躍する人材の育成を図ります。	●市民活動団体に関する情報の発信	情報紙「ささえ愛」	市民活動の情報を提供するため、市内で活躍している市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報紙を発行する。	市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「ささえ愛」を発行した。 発行部数：2,000部 発行回数：4回 情報紙配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、中部大学、春日井市社会福祉協議会、愛知県、他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大垣共立銀行春日井支店 ほか	○	市内で活躍する市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報を周知できた。	市民活動支援センター
			●ボランティアを養成するための講座や教室等の開催	健康マイスター養成講座	健康に関する正しい知識を持つ「健康マイスター」の養成講座を開催し、修了者のうち、希望者はボランティアとして、市などが実施する健康づくり事業に参加する。	実施期間：9月6日（水）～11月15日（水） 会場：総合保健医療センター、保健センター 養成人数：5人 講座数：10講座 内容：市の健康事情（講話）、健康マイスターボランティアの活動について（講話）、ウォーキングについて、準備運動と整理運動、安全管理・救命講習、認知症予防運動 ほか	△		健康増進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
2 地域の 担い手と なる人材の 発掘及び 育成	27 ボランティアの育 成	ボランティア団体の活 動を広く周知するとと もに、ボランティアとし て活躍する人材の 育成を図ります。 ●ボランティアを養成 するための講座や教 室等の開催	文化財ボランティア の養成	貴重な文化財や歴史及び 伝統文化を次世代に伝 え、文化財保護を啓発す るため、文化財ボランティアを 育成する。	(1)ボランティアの資質向上のため、ステップアップ研修を実施した。 実施回数：4回 実施研修内容：「春日井市西山地区の古代製鉄遺跡について」ほか 延受講者数：71人 (2)ボランティア活動の内容や魅力を伝え、幅広い活動が実現できるよう会員数 の増加を図るため、養成講座を実施した。 実施回数：4講座2回 実施講座内容：春日井の歴史と文化財について、ボランティアの会の 活動と魅力、下街道を歩く、二子山古墳見学 延受講者数：8人 令和5年度末会員数:31人	○	養成講座の実施により新規会員が7人 加入。	文化財課
			各種ボランティアの 養成	手話、点訳など市内ボラン ティアの養成を行う。	実 施 数：5講座 実施講座：手話奉仕員養成講座（入門課程、基礎課程）、点訳奉 仕員養成講座、読み書き（代読・代筆）情報支援員養 成講座、聞こえのボランティア入門講座 延受講者数：813人	○	「手話奉仕員養成講座」では多くの参加 があり、次の基礎課程への継続意欲もみら れた。	社会福祉協議会等
			人材育成セミナー	ボランティアや市民活動で 活躍する人材を育成するた め、人材育成セミナーを実 施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 延受講者数 142人 ・オトナのボランティアスクール 延受講者数 26人 (2)市民交流会議企画の市民活動団体のニーズに合った講座を開催した。 ・市民交流会議企画セミナー 開催数 3回（11月、1月、3月） 第1回受講者数 14人（10団体） 第2回受講者数 14人（8団体） 第3回受講者数 23人（17団体） ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者39人	○	ニーズに合ったセミナーを実施するなど、団 体の円滑な活動を支援。	市民活動支援セン ター
			図書館読み聞かせ ボランティア養成講 座	読み聞かせボランティアの必 要な知識や心構え、読み 聞かせの技術等を習得する 養成講座を実施する。	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアの希 望者を募り、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座 を実施した。 実施回数：1回（3日間） 延受講者数7人	○	受講者のうち4名が既存のボランティアグ ループに加入。	図書館
			高蔵寺まなびと交流セン ターにおいて「地域住民サ ポーター」を募集し、地域住 民との積極的な協働による 施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数：140人 活動内容：花壇の手入れ ・水やり、草刈り ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市主催）に出場） 育児保育のサポート活動 ・児童館での育児保育事業のサポート活動	○	地域住民の繋がり場の場となり住民協働によ る施設運営につながっている。	ニュータウン創生課	

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3 学習成 果を生 かしたま ちづくり の推進	28 学びの成果を 発表する機会 の提供	市民が学んだ成果を 発表することで新 たな学びにつなげ、 市民同士の交流が 図れるよう、日頃の 活動成果を発表す る機会を提供しま す。	●公民館まつりを活用した発表機会の確保	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	(1)中央公民館 発表会：2月25日(日) 団体数：8団体 作品展：3月1日(金)～13日(水) 団体数：12団体 (2)知多公民館 発表会：2月25日(日) 団体数：6団体 作品展：2月29日(木)～3月6日(水) 団体数：9団体 (3)鷹来公民館 発表会：3月24日(日) 団体数：7団体 作品展：3月26日(火)～29日(金) 団体数：11団体 (4)坂下公民館 発表会：2月18日(日) 団体数：9団体 作品展：2月21日(水)～25日(日) 団体数：15団体 (5)東部公民館 発表会：6月10日(土) 団体数：14団体 作品展：6月10日(土)・11日(日) 団体数：11団体	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター	
			芸能発表会	ふれあいセンターで活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	(1)南部ふれあいセンター 発表会：10月8日(日) 団体数：7団体 作品展：10月1日(日)～11月25日(土) 団体数：12団体 (2)西部ふれあいセンター 発表会：10月8日(日) 団体数： 作品展：10月8日(日)～10月14日(土) 団体数：29団体	○		ふれあいセンター	
			レディヤン祭	レディヤンかすがいを活動拠点としている利用団体が団体活動の発表を通して交流と親睦を図るとともに、男女共同参画と青少年活動等を広く市民に啓発するため、レディヤン祭を開催する。	・活動団体による発表 8団体 ・活動団体による体験教室 12団体 ・団体PRコーナー出展団体 4団体 ・展示コーナー出展団体 2団体 ・運営協力団体 3団体 ・来場者数 530人	○	レディヤン祭実行委員会で内容を検討している。	多様性社会推進課	
			ハーモニーフェスティバル	ハーモニー春日井の利用団体が、楽器演奏などの練習成果の発表を通じて団体相互の親睦と地域住民等との交流を図るため、フェスティバルを開催する。	第22回ハーモニーフェスティバル 期 日：11月19日(日) 出演団体：11団体(個人出演含む)	○		青年の家	
			●作品展や発表会などの開催	展示コーナーでの成果発表	公民館等の展示コーナーを貸し出し、個人やグループの作品展示を行う。	(1)公民館 展示回数：73回 作品数：2,830点 (2)ふれあいセンター 展示回数：57回 作品数：2,646点	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
			●生涯学習情報サイト登録講師の市民講座等への登用	登録講師の市民講座等への登用	公民館等で実施する講座に生涯学習情報サイトに登録されている講師などを積極的に登用する。	講師新規採用数：8人 情報サイト登録者：14人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3 学習成果を生かしたまちづくりの推進	29 市民自らが企画した講座の開催	市民が学習で得た知識や技術を広く生かせるよう、「学ぶ」だけでなく、「教える」楽しみや生きがいを感じることができる場をつくり、市民が主体となった生涯学習の推進を図ります。	講師発掘・登用事業	さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座の講師として活躍する場を提供する。また、登用した講師を市主催講座で積極的に活用する。	応募件数：22件 採用件数：16件 実施数：12講座（うちオンライン講座1講座） 実施講座：だれでもできる自然治癒力を活性化する健康法、今日からあなたも会話美人 ほか 延受講者数：186人	○		いきがい推進課
			出前公民館講座	市民の身近な場所での学習機会の充実を図るため、講師発掘・登用事業で採用した講師経験者等を講師として、地域の集会所施設で講座を開催する。	実施数：34講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほか 実施講座：脳活性化は笑顔で楽しいゲームで！、リズム体操とフレイル予防体操、“アニにち”アニソン×日本舞踊、ほか 延受講者数：844人	◎		いきがい推進課
			市民のためのチャレンジ講座等	施設を利用している生涯学習活動団体による講座を実施します。	(1)公民館 実施数：4講座（13回） 実施講座：ヨーガで心と体をリフレッシュ、絵手紙で年賀状を描いてみよう！、初級マジック講座、子ども茶道教室 延受講者数：77人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
	30 住民主体による生活課題の解決に向けた学習の支援	住民自らが地域の担い手として地域課題の解決に取り組むことができるよう、住民主体の学習に対する支援を行います。	生涯学習出前講座による支援	市民の身近な場所での学習機会の充実を図るため、講師発掘・登用事業で採用した講師経験者等を講師として、地域の集会所施設で講座を開催する。	実施数：34講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほか 実施講座：脳活性化は笑顔で楽しいゲームで！、リズム体操とフレイル予防体操 ほか 延受講者数：844人	◎		いきがい推進課
			生涯学習まちづくり出前講座	市民等により構成される団体の依頼に応じ、市職員を地域の集会所等に派遣し、行政情報や施策に関する講座を実施する。	実施数：11講座 申請団体：地区社会福祉協議会 ほか 実施講座：高齢者、障がい者などの災害時の避難支援制度について、介護保険のしくみについて、マイナンバーカードについて ほか 延受講者数：310人	○		いきがい推進課
			地域課題解決に向けた取組に対する費用の助成					

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
1 身近な 生涯学 習施設 の充実	31 市民が利用し やすい、利用し たくなる施設運 営	市民にとって使 いや しい施設の運 営を 推進します。また、 施設に関する情 報 発信を行い、施設 の 利用促進を図り ます。	施設予約に関する 利便性の向上	市民にとって利用しやすい 施設運営を推進するため、 予約方法などの利便性の 向上を図る。	令和5年4月以降、施設利用の3日前までに利用申請を行うこととしていたもの を利用日当日までに行うことに変更した。 利用予約申込みの方法に口頭による予約を加えた。 生涯学習活動団体の活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前か ら予約できるよう変更した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
			Wi-Fi環境整備	●利用者ニーズに 基づいた改善や管 理運営方法の改善	施設利用者の利便性を高 めるため、施設の機能向上 を図る。	利用者の利便性を図るため、公民館、ふれあいセンター等の各1室にWi-Fi環 境を整備した。(令和4年度実施) 令和5年度は、新たに青年の家にWi-Fi環境を整備した。 設置施設：公民館(中央、知多、鷹来、坂下) ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部) 青年の家、レディヤンかすがい	◎		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			社会教育事業連絡 調整会議	各公民館、ふれあいセ ンター等の機能の充実を目指 し、各施設における課題等 を共有し、課題解決のため の協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能を充実させ、施設間の情報共有を図るた め、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実 施 数：12回	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
			●交流スペースの設 置	交流スペースの設置	幅広い年代の方が気軽に 立ち寄りやすい施設とるよ う、交流スペースを設置す る。	施設のロビーや中庭などに自由に利用できる談話スペースを設置した。 (飲食可)	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			●施設の魅力に関 する情報発信	施設利用に関する 情報発信	施設の利用を促進するた め、各施設の情報発信 する。	市ホームページLINE等による施設に関する情報発信を行い、施設の利用促進 を図った。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
	32 施設の有効活 用	市民や団体が学習 活動を行う場をよ り多く提供するため、 既存施設の有効活 用の促進を図り ます。	●学校体育施設の 開放	学校体育施設の開 放	市民の健康増進や体力の 向上を図るため、スポーツ 活動の場として市内の小中 学校体育館、中学校武道 場及び県立学校体育施設 を学校教育に支障のない 範囲で開放する。	(1)県立学校体育施設開放 開 放 校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：1,607人 (2)小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：292,956人	○		文化スポーツ振興課
			●小学校余裕教室 の開放	松原学習センター	地域住民の生涯学習活動 やコミュニティ活動の推進 を図るため、松原小学校の 余裕教室を活用し、施設の 貸館や生涯学習指導員に よる講座を実施する。	小学校の空き教室を整備し、松原中学校区の住民を対象に講座を実施した。 登録団体：4団体 利用件数：130件 利用者数：1,968人 講 座 数：22講座(80回) 実施講座：脳トレ!!なんでもチャレンジ、アナログレコードを楽しもう、 初めての凹版画(ドライポイント)ほか 延受講者数：852人	△		いきがい推進課

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1 身近な 生涯学 習施設 の充実	32 施設の有効活用	市民や団体が学習活動を行う場をより多く提供するため、既存施設の有効活用の促進を図ります。	●小学校の余裕教室の開放	小学校余裕教室の開放	市民の生涯学習活動の推進とコミュニティの育成に寄与するため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。	登録団体数 白山小学校：なし 牛山小学校：なし 石尾台小学校：2団体	△	いきがい推進課
			●予約が入っていない集会室等の有効活用	スタディールーム	公民館、ふれあいセンター等の空き室を有効活用し、学習室として開放することで中高生の自主学習を支援する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日 午前9時から午後5時まで 利用できる人：市内在住、在学の中学生、高校生 利用人数：7,936人	○	いきがい推進課
	33 施設の適切な 維持管理	施設の計画的な点検はもとより、不具合に対する早期対応や修繕を行い、必要に応じた設備、機器の更新などによる利用環境の充実や機能の向上、安全で快適な施設環境の充実に努めます。	●市公共施設等マネジメント計画に基づく計画的な改修・修繕	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)鷹来公民館大規模改修工事実施設計 (2)東部市民センター電話設備改修工事 (3)南部ふれあいセンター給水ユニット取替工事 (4)公民館等多目的トイレベビーチェア設置工事 (5)道風記念館展示ケースLED照明器具更新工事 (6)少年自然の家宿泊棟空調設備更新工事 ほか	○	公民館、ふれあいセンター、東部市民センター、青年の家、道風記念館、多様性社会推進課、野外教育センター（社会教育施設）
			●大学や民間事業者等との連携による講座の開催	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)総合体育館：更衣室シャワー修繕 (2)温水プール：ファンコイルユニット更新修繕 (3)市民球場：観覧席ベンチシート取替修繕 (4)落合公園体育館：給水管漏水修繕 ほか	○	文化スポーツ振興課（社会体育施設）
	2 関係機 関との ネット ワークの 構築	34 地域の大学や 事業者との連携	大学や民間事業者、NPO等の専門的な知識を有する人材をはじめとする豊富な学習資源を活用し、大学や事業者等と地域が連携した生涯学習の場づくりを目指します。	●大学や民間事業者等との連携による講座の開催	大学連携講座の開催	近隣の大学と連携し講座を実施した。 連携大学：中部大学、名城大学、椋山女学園大学、名古屋学芸大学、東洋大学 実施数：18講座 実施講座：クラシック音楽史、生活に生かすカラーコーディネート、子どものこころからだを育む～家庭教育オンライン講座、親子の理科教室～にぼしを解剖して環境問題について考えよう ほか 実施方法：対面講座 13講座、対面・オンライン併用講座 3講座 オンライン配信講座 2講座 延受講者数：852人	◎	いきがい推進課

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
2 関係機 関との ネット ワークの 構築	34 地域の大学や 事業者との連携	大学や民間事業者、NPO等の専門的な知識を有する人材をはじめとする豊富な学習資源を活用し、大学や事業者等と地域が連携した生涯学習の場づくりを目指します。	民間団体・事業者との連携	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	NPO法人と連携し、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」事業の採択を受け、障がい者の生涯学習について研究を行った。 事業名：春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プログラムの開発 連携協議会：会議4回、出席委員等 延べ54人 障がい者の生涯学習実践研究講座（7回）、延受講者数151人 障がい者を対象とした体験講座：3講座、延受講者数 106人 視察研修：視察先1施設、参加者5人 コンファレンス：参加者82人（うちオンライン参加19人）	○		いきがい推進課
			民間団体・事業者との連携	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	(1)公民館 実施数：29講座（94回） 実施講座：はじめてのバドミントン、季節を感じる家庭料理、はじめての資産形成～シン・ニーサを活用しよう、シニアのための持ち込みパソコン教室 連携先：春日井市食生活改善協議会、春日井市バドミントン連盟、日本証券業協会、けやきネットの会 ほか 延受講者数：1,789人 (2)ふれあいセンター 実施数：35講座（121回） 実施講座：らくちん筋力アップ体操、夏休みこども劇場、ホテルプラザ勝川シェフの料理教室 ほか 連携先：あい・愛マインド、グループゆう、ホテルプラザ勝川 ほか 延受講者数：1,120人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
			●大学や民間事業者等との連携による講座の開催	市と連携協定を結んでいる企業、大学等との生涯学習分野における協力体制を強化する。	検討中	△	さらなる学びの場となるよう、中部大学等と連携した事業展開について検討を進める。	いきがい推進課
	●講座実施に向けた連携・協力体制の構築	大学等との連携・協力体制の構築						
35 近隣自治体との 連携強化	市民へより多くの学習情報の提供や学習機会を拡充するため、近隣自治体との連携を図ります。	●近隣自治体の情報や人材の相互利用による生涯学習の推進（愛日社会教育担当者連絡会への参加）	愛日社会教育担当者連絡会	近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め11市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。	愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月8日（月）：名古屋市三の丸庁舎 8月24日（木）：研修会（春日井市） 1月30日（火）：研修会（豊山町）	○		いきがい推進課